

エレミヤ書52章（70人訳）

- 1 それはゼデキヤ王の21年目であり、彼が統治を始めてから、彼はエルサレムで11年統治した。そしてかれの母の名は、ロベナのエレミヤの娘アマタルである。
- 4 そしてそれは彼の統治の9年目の9の月、月の10日目、バビロンの王であるネブカデネザルが彼のすべての軍とともにやってきて、エルサレムに向かって彼らはその周りに壘を築き、そして大きな石でその周りに壁を建てた。
- 5 それでゼデキヤ王の11年目まで町は取られた、
- 6 月の9日目に、それから町の飢饉が激しくなった、そして地の人々のため、何のパンもなかった。
- 7 そして町はこわれた、そしてすべての戦いの人々は夜、壁と外壘との間の、門への道を出た、それは王の庭のそばである；
そしてカルデヤ人は、町を囲み町の周りにいた、そして彼らは、荒野へ続く道のそばを行った。
- 8 しかしカルデヤの軍は王の後を追った、そしてジェリコの向こうの国で彼をとらえた；
そしてかれの全てのしもべは彼から散らされた。
- 9 そして彼らは王をとらえ、そして彼をバビロン王へとデブラサへと連れて行き、彼を裁いた。
- 10 そしてバビロン王はゼデキヤ王の子をかれの目の前で殺した；
そして彼はユダの全ての諸侯をデブラサで殺した。
- 11 そして彼はゼデキヤの目を取り出した、そして彼をかせにつないだ；
そしてバビロン王は彼をバビロンへ連れて行き、彼が死ぬまで、彼を粉引き小屋に入れた
- 12 そして5つ目の月の10日目に、護衛の長であるナブザルダンがバビロン王を待ち、エルサレムに来た。
- 13 そして彼は主の家と王の家を燃やした；そして全ての町の家々と全ての大きな家を

火で燃やした。

- 14 そして護衛の長と、ともなるカルデヤの軍はエルサレムを囲む全ての壁を引き倒した。
- 16 しかし、護衛の長は民の残りのものをぶどう作りと農夫になるべく残した。
- 17 そしてカルデヤ人は主の家にある青銅の柱とそして主の家にある土台、青銅の海を粉々にした、そしてそれから青銅を取り去り、そしてバビロンへ運んだ。
- 18 さらに車輪とボール、そして肉つり、そして、これらを持って彼らが働きを成した全ての青銅の器
- 19 そして灰つぼ、火消し、そして油じょうご、そして燭台、香、そして金の、金製の、銀の、銀製の杯を護衛の長は持ち去った。
- 20 そして2つの柱、そして一つの海、そして海の下の12頭の青銅の牛、それらはソロモン王が主の家のために作ったものである；それらの青銅の品物の重さは量りきれない。
- 21 そして柱に関して一つの柱の高さは35キュービット、そして一列の12キュービットがその周りに円となっている；そしてそれを囲む全ての厚さは4フィンガーである。
- 22 そしてその上に青銅の柱頭があり、その長さは5キュビトである、そして高さは1キャピルターである、そしてキャピルターの上には、全ての青銅による網状とざくろがある；そして対応する2つ目の柱は8つのざくろを持ち、12キュービットである。
- 23 そしてざくろはひとつの側に36個あり、そしてすべての囲む網状のざくろは約100個である。
- 24 そして護衛の長は祭司長を、そして次席祭司、そしてそれらの道を守るものをとった。
- 25 そしてひとりの宦官、彼は戦いのとき人の上にたつ、そしてよく知られた7人の男、

彼らは町に見つけられたとき王の近くにいた；　そして力ある律法学者、
彼は地の人々の律法の部分を行なう；
そして地の人々の60人の男、彼らは町の間中で見つかった。

- 26　そして王の護衛の長であるナブザルダン、彼らを取り、彼らをデブラサにいるバビロン王のもとへ連れて行った。
- 27　そしてバビロン王は彼らをアエマスの地であるデブラサで打った。
- 31　そしてこうなった、ユダの王ヨアキムが捕囚となって連れ去られ37年目のこと、12番目の月、24日目のこと、バビロン王のウァエマダチャルは、彼が統治を始めた年にユダの王ヨアキムの首をあげ、彼のひげをそり、彼がいた場所から連れ出し、
- 32　彼に親切に話しかけ、彼の座を彼とともにバビロンにいる王たちの上においた。
- 33　そして彼の囚人の服を着替えさせ、そして彼はパンを生涯の終わりまで常に王の前で食べた。
- 34　そして彼の分は彼が死ぬまで毎日毎日バビロン王から常に与えられた。